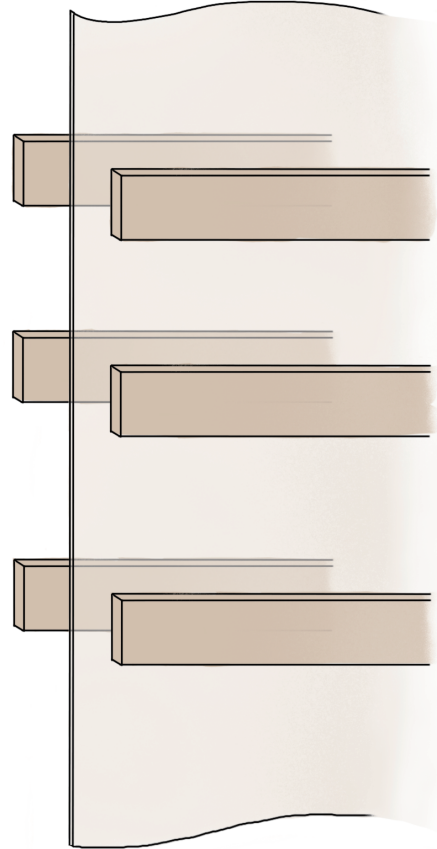


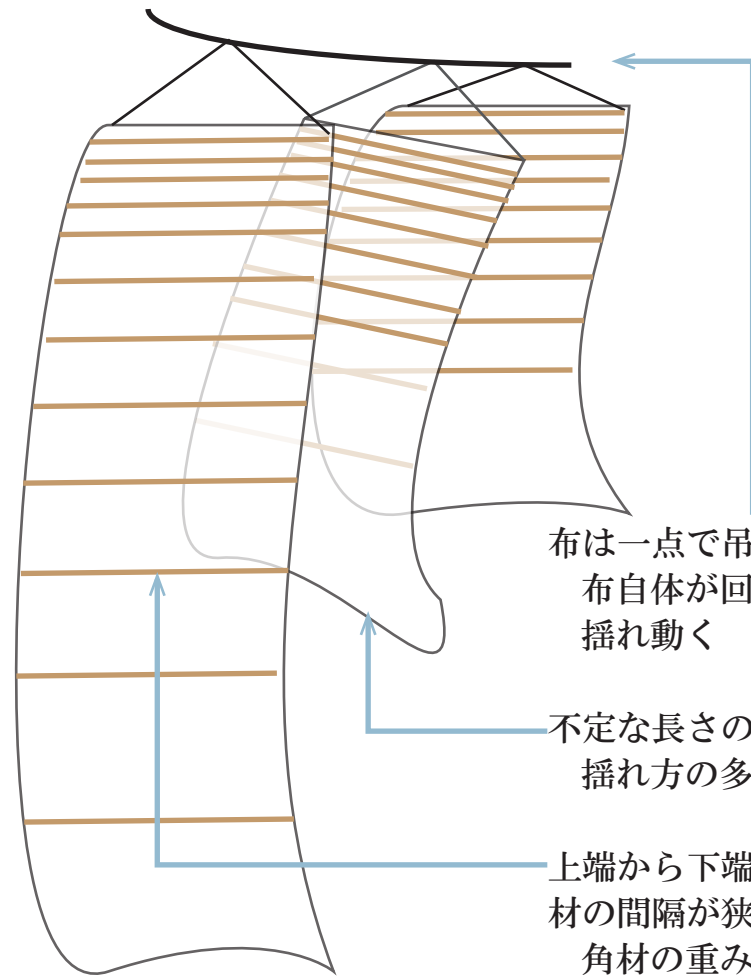
空気を捉える「ゆらよみ」

風の機微や人に反応し、揺れや音として伝えるデザイン

透過性のある綿の布
(幅 450mm)



ヒノキ角材 (1×5mm)



布は一点で吊るす
布自体が回転するように
揺れ動く

不定な長さの布
揺れ方の多様性が増加

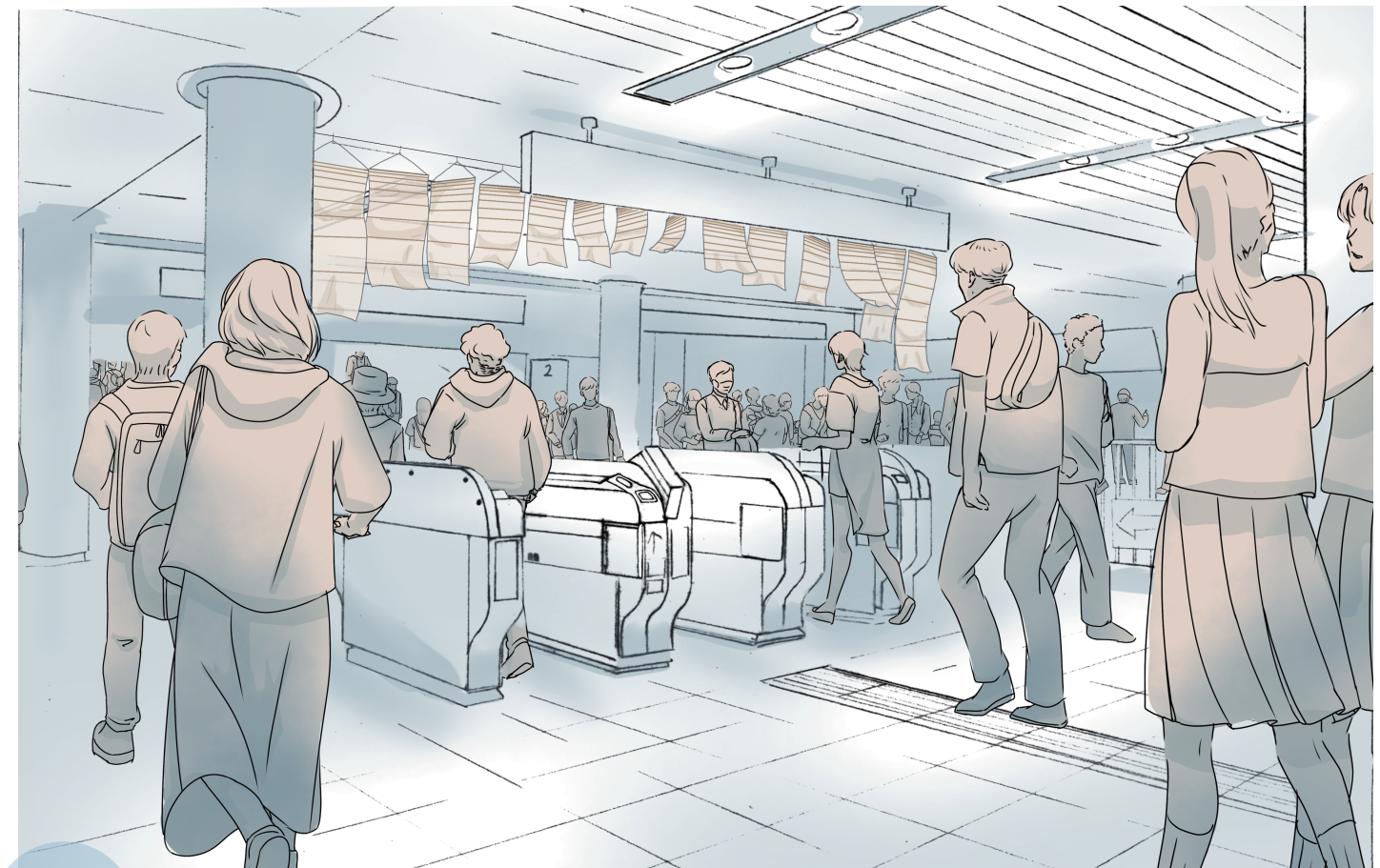
上端から下端に行くほど角
材の間隔が狭まる
角材の重みが減る下端に
行くほど、揺れ幅が大き
くなる



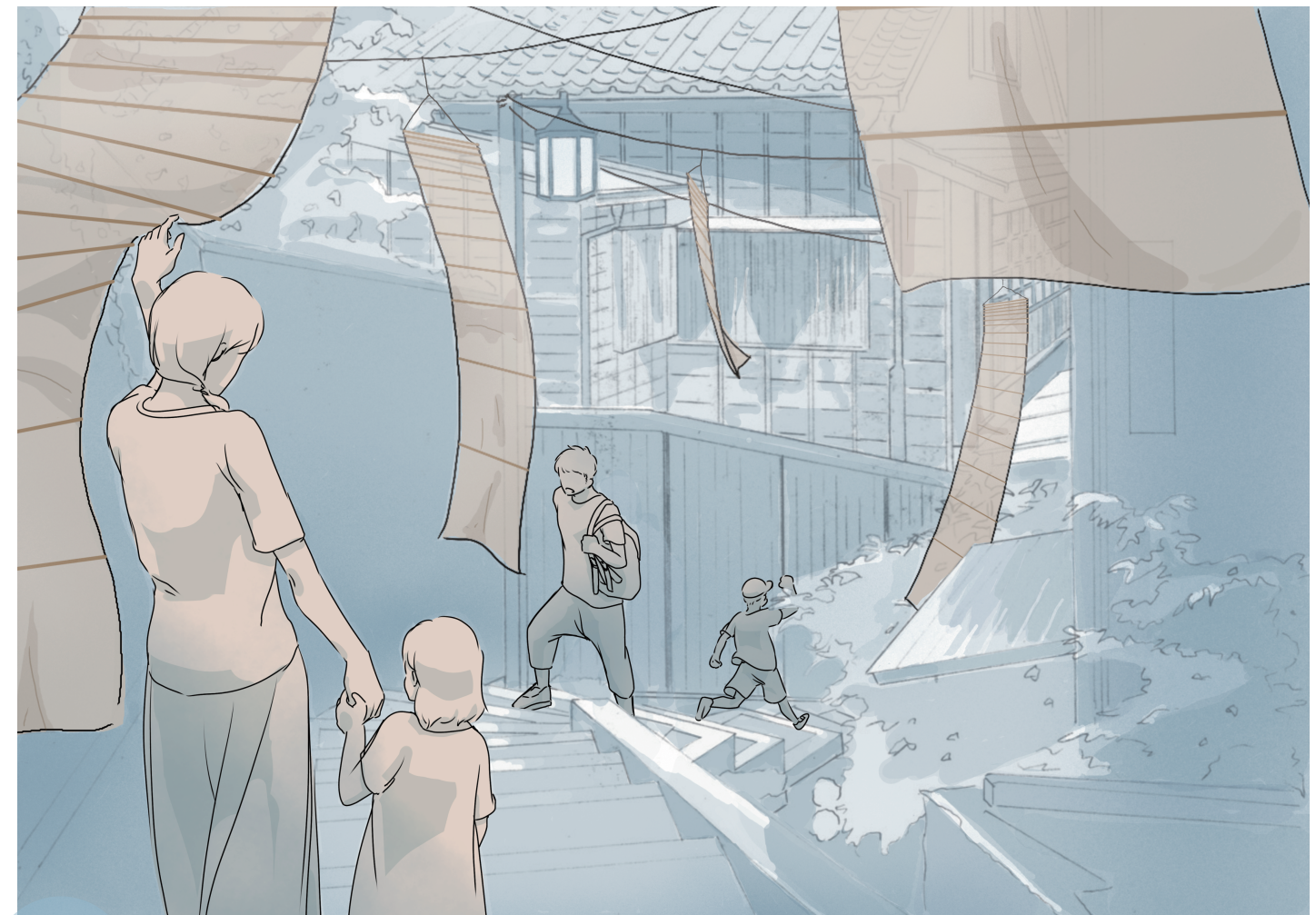
風によるゆらよみ同士の接触で
木材のこすれあう音が聞こえる



くぐることで生じる人との接触で
肌と木材の触れ合う音が聞こえる



空間の境界（地下鉄さっぽろ駅改札付近）仕切りとして作用



通り道（金沢市町屋街）時間変化に呼応し変化する